

東久留米市検討部会 会議録

1. 会議名 第10回東久留米市第二次緑の基本計画中間見直し検討部会
2. 日時 平成29年12月22日(金) 午前10時00分から午前12時15分
3. 場所 東久留米市役所3階 庁議室
4. 出席委員氏名(敬称略) 杉原弘恭(会長)、水戸部啓一(副部会長)、
豊福正己、下村央行、高橋喜代治、大塚ちか子、
田中潤子、菅谷輝美、草刈秀紀、古澤毅彦、武内浩司
(以上11名)
5. 欠席委員氏名(敬称略) なし
6. 事務局職員名 小平計画調整係長、齊藤計画調整係主事
7. コンサルタント会社(アジア航測株式会社) 深見幹朗、藤原真太郎
8. 傍聴人 0名
9. 次第
 - (1) (報告) 全体スケジュールについて(参考資料1)
 - (2) (議題1) 第9回会議記録の確認(資料1)
 - (3) (議題2) 素案の検討
 - ① 計画素案について(資料2)
 - ② コラム・写真・表紙項目等の検討(資料2-1、資料3、資料4)
 - ③ 主な生物種(観察種・代表種)について(資料5)
 - (4) (その他)

<配布資料>

- 資料 1 第 9 回検討部会記録（案）
- 資料 2 第二次緑の基本計画・生物多様性地域戦略（素案）
- 資料 2—1 第二次緑の基本計画・生物多様性地域戦略（素案）資料編
- 資料 3 関連用語解説案
- 資料 4 掲載コラムについて
- 資料 5 主な生物種（観察種・代表種）個別表（案）
- 資料 6—1 「主な生物種」の選定について（選定フロー）

<参考資料>

- 参考資料 1 東久留米市第二次緑の基本計画中間見直しスケジュール(案)

10. 第 10 回東久留米市第二次緑の基本計画中間見直し検討部会

- ・ 出欠席者の報告 出席 11 名 欠席 0 名 定足数に達しており会議は成立
- ・ 傍聴者について 本日は傍聴者はなし

(1) (報告) 全体スケジュールについて (参考資料 1)

【事務局】

- ・ 前回までの会議の議論を踏まえ、環境審議会、庁議（理事者・部長級会議）に報告し、12/18 から 1/12 パブリックコメントを実施している。
- ・ 本日の会議では並行して、素案の確認していただくと共に、主な生物種、資料編・コラム等の確認・検討を行っていただきたい。
- ・ 1 月に本文、資料編を確定させたいと考えている。

(2) (議題 1) 第 9 回会議記録の確認 (資料 1)

【事務局】

- ・ 第 9 回検討部会の会議録の確認をお願いしたい。
- ・ 議事録の送付が遅くなったため、本日、議事録をご確認いただき、修正等があれば、その内容を反映して発言者が特定できない形で会議録として確定する。
- ・ 会議録は要点筆記としており、一部発現が割愛されている場合もあることを承知おきいただきたい。追記されたい発現があれば、別途連絡をいただきたい。

【部会長】

- ・ 意見があれば 12/28 までに事務局まで連絡すること。

(3) (議題2) 素案の検討(資料2、資料2-1、資料3、資料4、資料5)

①計画素案について

【事務局】

- ・本編と資料編で重複している内容があったので、調整の上で整理を行った。
- ・パブリックコメント用の素案は、主に前回までの会議結果と、部会長と担当委員を交えた資料編整理の打ち合わせ、環境審議会や庁内会議での指摘事項を踏まえて修正したものである。
- ・修正部分について赤字で記載しているので、確認の上で、ご意見を伺いたい。
- ・P2「緑の基本計画について」では、担当委員のコラムを踏まえて、他委員が修文を行った。4段落目に緑の機能についても追記している。
- ・P5「水と緑と生きものの現況」では、委員の指摘を踏まえて、地形地質についての記載を追加している。
- ・P6,7「東久留米市 水と緑と生きものの現況」の図では、これまでの議論を踏まえて、市内でみられる生きものや特徴的な場所の写真を配置した。庁内からは好意的な意見があった。
- ・P17「基本理念・将来像」では、パブコメ用の素案として「4 計画の基本理念」と「5 水と緑の将来像」を1ページに整理した。また、パブコメ用の素案では写真を掲載していないが、今後、レイアウトを検討する。
- ・P23「水と緑と生きものの18の拠点と保全のための取り組み」の「⑦小山・氷川台」では、庁内での協議の結果、「積極的に介入」という表現が適切でないとの結論に至ったため、現計画と同じ書きぶりに戻した。
- ・P61「個別項目毎の点検評価項目」では、市民アンケート調査結果を指標として用いる目標について、点検評価項目の記載を明確化した。

【委員】

- ・P6,7「東久留米市 水と緑と生きものの現況」図に掲載されているミスミソウは盗掘の被害を受けており、掲載は好ましくない。差し替えをお願いしたい。

【委員】

- ・同図について。
- ・市内の街路樹の写真があるとよい。
- ・凡例を小さくして、写真を掲載する範囲を広げるとよい。
- ・文字のポイントを、本文と図面で揃えること。
- ・水と緑のネットワークの構成要素である街路樹を、図上でどのように扱うべきかを検討したい。

【事務局】

- ・同じ図面に要素を詰め込みすぎると、読みやすさに支障が生じる可能性もある。

【委員】

- ・街路樹は P7 に写真を掲載し、P18,19 の「水とみどりの将来像のイメージ」図のみに掲載することとしたい。

【委員】

- ・P6,7「東久留米市 水と緑と生きもの現況」図に掲載する地域の写真は、街路樹や散策路のものが良いだろう。街路樹としては、柳新田通りのケヤキの写真などが良いのではないかな。

【事務局】

- ・柳新田通りのケヤキは、施策の中で使いたい。

【委員】

- ・p16「2 計画期間と目標年次」で年号の記載があるが、平成は 31 年で終わることから、計画期間の表記を工夫する必要がある。

【委員】

- ・「策定年～10 年間」という記載ではどうか

【事務局】

- ・基本的に行政計画では和暦を用いている

【部長】

- ・図の年表記について、10 は「2010」と修正し、西暦であることが分かるようにすること。

【委員】

- ・P6,7「東久留米市 水と緑と生きもの現況」図に掲載されているアカゲラは、市内でほとんど観察されないのので、アオゲラ差し替えること。古い文献資料では確認できるが、近年は実際に見られることが少ない。

【委員】

- ・市民の親しみやすい種という観点からみると、確認が難しいアカゲラよりもアオゲラが適していると言える。東久留米に特徴的かつよく見る種を主な生物種として選定すればよいだろう。

【委員】

- ・掲載されているヒバカリは東久留米らしい種と言えると思う。
- ・図には掲載されていないが、タチツボスミレやアオダイショウは東久留米らしい種と考えられる。

【委員】

- ・湧水池で示されているイワウメヅルはセキショウに差し替えてはどうか。セキショウは湧水地を代表的な生育環境にしていると言える。

【部 会 長】

- ・説明文の「主な生きもの」の「主な」は外すこと。

【委 員】

- ・このページに写真が掲載されている種の選定根拠を「希少種」とするか「みんなが知っている種」とするか、考え方が混在している。整理しておく必要がある。

【部 会 長】

- ・資料3との整合も考える必要がある。

【委 員】

- ・我々がこの計画で何を指すのかを再度考えると良い。P44「個別目標14 多様な生きものの保全」で何を示すかである。

【部 会 長】

- ・市民への啓蒙的視点からしても、親しみやすい種を中心に掲載することが良いだろう。

【部 会 長】

- ・以上の議論を踏まえて、P6,7「東久留米市 水と緑と生きもの現況」図については、以下のとおり対応することとする。
- ・イワウメヅルはセキショウに変更
- ・アカゲラはアオゲラに変更
- ・ミスミソウはアオダイショウに変更する
- ・凡例を小さくすることで、空いたスペースに街路樹の写真を掲載する。

②コラム・写真・表紙項目等の検討

【事 務 局】

- ・前回会議後、本編・資料編の住み分けの明確化等を行っている。
- ・資料3「緑の現況」に記載していた「これまでの水と緑の取り組み」は、主たる取り組みを本編に記載していることと、記載の一部を他の項に移したことで、項目を削除した。
- ・資料4は、「東久留米市の土地の成り立ち」として、記載を検討している。
- ・資料5「生きものの現況」の「2 市内の主な生きものの変化」では、出典資料を再度確認した上で、記載を再整理している。
- ・資料6「水と緑に関する市民アンケート調査」のクロス集計結果では、年代、居住地域の2属性のみの集計結果を示し、項目間で違いの出ないものは原則として除外した。
- ・配布資料3「関連用語解説案」では、各委員から指摘いただいた意見をもとに再整理を行っている。掲載する項目を増やした分、解説が必要な項目も増えた。

- ・配布資料4「掲載コラムについて」では、各団体活動の活動結果を掲載することは難しいため、団体名と主な活動のみの記載に留めている。また、東久留米市に対する想いをつづった委員のコラムを掲載した。

【委員】

- ・資料3 p84,85「東久留米市野鳥観察記録」の参考資料③と④は同じなので修正すること。また、本文と出典が重複しているので記載を工夫して省略すること。

【委員】

- ・資料3 p84,85「東久留米市野鳥観察記録」の出展の表は文字が小さくて読めない。見やすく工夫をすること。

【委員】

- ・この計画を教育にも利用することを意識して、できるだけ平易な言葉づかいとしたい。

【部会長】

- ・一方で、地域の専門家も活用するため、用語解説では、ある程度専門的な用語を用いた解説も掲載したい。

【委員】

- ・資料4で地形を解説する際に、多摩川と古多摩川には区別をつけること。

【部会長】

- ・古多摩川とする。

【委員】

- ・「生き物」は「生きもの」に統一すること。
- ・自分が記載したコラムは掲載しないでもらえないか。

【委員】

- ・東久留米市を昔から知る方の証言は大変貴重であり、市内の環境を取り戻すモチベーションになる。小学校などで伝えられるとよい。欲を言えば、昔の写真があるとよい。

【部会長】

- ・コラムは是非、掲載したい。

【委員】

- ・資料1の計画の位置づけを分かりやすくすること。特に関連法や関連計画と政策の位置や色を工夫するとよい。

【委員】

- ・市民アンケート調査結果の総括は掲載しないのか。

【委員】

- ・アンケート結果は本編の P13,61 に関連する。

【部長】

- ・アンケート結果はコラムでも参照している。

【事務局】

- ・アンケート調査は別業務であり、計画の参考資料として位置づけているので、総括まで掲載することは想定していない。

【委員】

- ・資料3「生きものの現況」について、ニホンカナヘビの写真を網にかかっているものと交換すること
- ・ミスミソウは表から削除すること。
- ・オオカワヂシャの写真を更新すること。

③主な生物種（観察種・代表種）について

【事務局】

- ・前回会議までに提示していた資料について、その後、整理を進めた。
- ・②（代表種）については、「施策の点検管理の指標」、「環境特性を代表する種」、「環境変化の影響を受けやすい種」として「レッドデータブック東京（北多摩部）」の掲載種で、同定がしやすい種にしてはどうかと考えている。
- ・この考えのもとに、これまでの主な生物種の中から候補種をピックアップした。候補種を確認いただき、東久留米市の特性を示している種として新たに加えるべき種があれば挙げていただきたい。観察種の選定と合わせて案の検討をお願いしたい。

【事務局】

- ・分かりやすさの観点から、現在の選定種や表が埋まっていない種についてもご確認いただきたい。なお、外来種についても別紙に整理している。

【委員】

- ・配布資料5に記載のジュズカケハゼはムサシノジュズカケハゼが、トウヨシノボリはクロダハゼが正しい名称となるので修正すること。

【委員】

- ・雑木林の鳥類が選定されていないが、選定しないのか。

【事務局】

- ・選定したいので、各委員のご意見をいただきたい。

【委員】

- ・一般の市民でも見つけやすい種を選定することがよい。

【委員】

- ・カテゴリごとに種数はある程度そろえた方がよいだろう。

【事務局】

- ・別紙2に掲載した代表種候補の中から、見つけやすい代表種を選定していただきたい。
- ・ご意見があれば、1月までにメールで事務局に送付してほしい。

【部会長】

- ・検討のスキームはこのとおりとし、具体的な種を選定はさらに検討していくものとする。

(4) その他（今後の予定について）

【事務局】

- ・冬の渡り鳥観察会を2月11日に落合川・自由学園において開催する。
- ・市民環境会議水とみどり部会において生物調査を目的とした市民団体の連絡会を検討している。
- ・来年6月に開催する環境フェスティバル実行委員会において、生きものをテーマとしたイベントを開催できないかと考えている。展示だけでなく、生きものを絡めて親子で楽しむことができるイベントを予定しており、来場した市民が楽しめるような催しのアイデアが必要とされている。ぜひ皆さまのご協力をお願いしたい。

【委員】

- ・市民環境会議では、市の生物多様性の取り組みの手助けとなるよう、市内の生きもの関係団体の繋がりをもつ自然系の環境活動連絡会といった会議を開催する予定。事務局は水とみどり部会である。
- ・連絡会では、個々の団体が保有している情報の交換や、観察種（1～2種）の調査の共同実施などを目的としている
- ・春から夏にかけて生きもの調査を行いたいので、それまでには集まりたいと考

えている。

【委 員】

- ・資料4のコラムに掲載されていた各市民団体に対してパブコメのアナウンスをしたほうがよいだろう。

【事 務 局】

- ・次回の検討部会は1月26日（金）の予定である。

(5) 閉会

【部 会 長】

- ・これで本日予定されていたすべての議題が終了した。
- ・第10回東久留米市第二次緑の基本計画中間見直し検討部会を終了する。

以上